

2022年2月18日

各位

会社名 株式会社 きょくとう
(コード 2300 東証 JASDAQ)
代表者名 代表取締役社長 牧平 直
問合せ先 常務取締役管理本部長 弓削 道哉
電話 092-503-0050

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2023年2月期から2025年2月期までの3ヵ年を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 数値目標（2025年2月期）

- (1) 売上高 60億円（クリーニング売上55億円・新規事業売上5億円）
- (2) 経常利益 4億8千万円
- (3) ROE 10%以上
- (4) 会員数 52万人（内、デジタル会員10万人）

2. 基本戦略

- (1) ダイバーシティ&インクルージョン ～ダイバーシティ経営
- (2) きょくとう DX ～DX推進によるビジネスモデルの創出
- (3) ESGとSDGS ～サステナビリティ経営
- (4) 効果的な投資 ～構造改革、DX、M&A、設備投資 総投資額15億円

※詳細につきましては、添付資料「中期経営計画 NBM2022～NBM2024」をご参照ください。

以上

株式会社きよくとう

中期経営計画

NBM2022 ~ NBM2024

2022年2月

中期経営計画策定にあたって

現在の社会は、グローバル化、少子高齢化が進み、さらにAIを中心とするデジタル化社会へと急速に変化しています。また、働き方改革によるリモートタイプ中心のニューノーマルな社会への変化と、新型コロナウイルスによるコロナ禍の中で、クリーニング需要は慢性的な減少傾向が急激な減少へと進み、弊社を取り巻く経営環境はとても厳しいものとなっています。

弊社は創業より「融和」「変革」「貢献」を経営理念に掲げ、これまでクリーニング業を通じて地域の皆様と社会への貢献を目標に事業を進めてまいりました。今後、社会がコロナ禍を乗り越え、ポストコロナの時代となっても、変わらず経営理念の実現に尽くすとともに、全社一丸となり力強い収益基盤を構築するために新たな目標を設定し、その成長路線を実現する指針として中期経営計画を策定します。

代表取締役社長 牧平 直

目次

1. 経営理念
2. 数値計画
3. 基本戦略
 - (1) ダイバーシティ & インクルージョン
 - (2) きょくとうDX
 - (3) ESGとSDGs
 - (4) 効果的な投資

1. 経営理念

・融和

弊社は、創業以来多くの人と人が出会い、また多くの企業とM&Aを行うことによって成長してきました。人と人が出会う時やM&Aを行う時の基本的な考えが「融和」であり、それぞれの人の人生観や価値観、喜びを理解し、また、M&Aでは相手の会社が培ってきた価値観や文化、人材をそのまま大切に引き継ぐこと、そして時間をかけながらひとつになって行く過程の中で生まれるのが「融和」です。

・変革

弊社は創業時の事業（貸しおむつ業）を1年後に大きく変更してドライクリーニングを導入、その後も会社組織の変更を行い、営業面では顧客第一主義を徹底した「マックスシステム」の導入、また、ダイソーをはじめとする100円文化から着想した「100円クリーニング」のシステム開発と店舗展開等、多くの変革を行ってきました。

また、新商品開発にも積極的に取り組み、平成6年には全工場一斉にオゾン発生器を導入し、ドライクリーニングにオゾンを加え品質を向上させ「オゾンクリーニング」としてサービスを提供しました。

平成12年には「オゾン&アクア/ドライ」を新商品として発売し、発売以来1億点を突破するという大ヒット商品となったのははじめ、多くの新商品を開発してお客様に提供してきました。

クリーニングは化学であるとの考えで様々な先端技術を導入し、「変革」を実践してきました。

・貢献

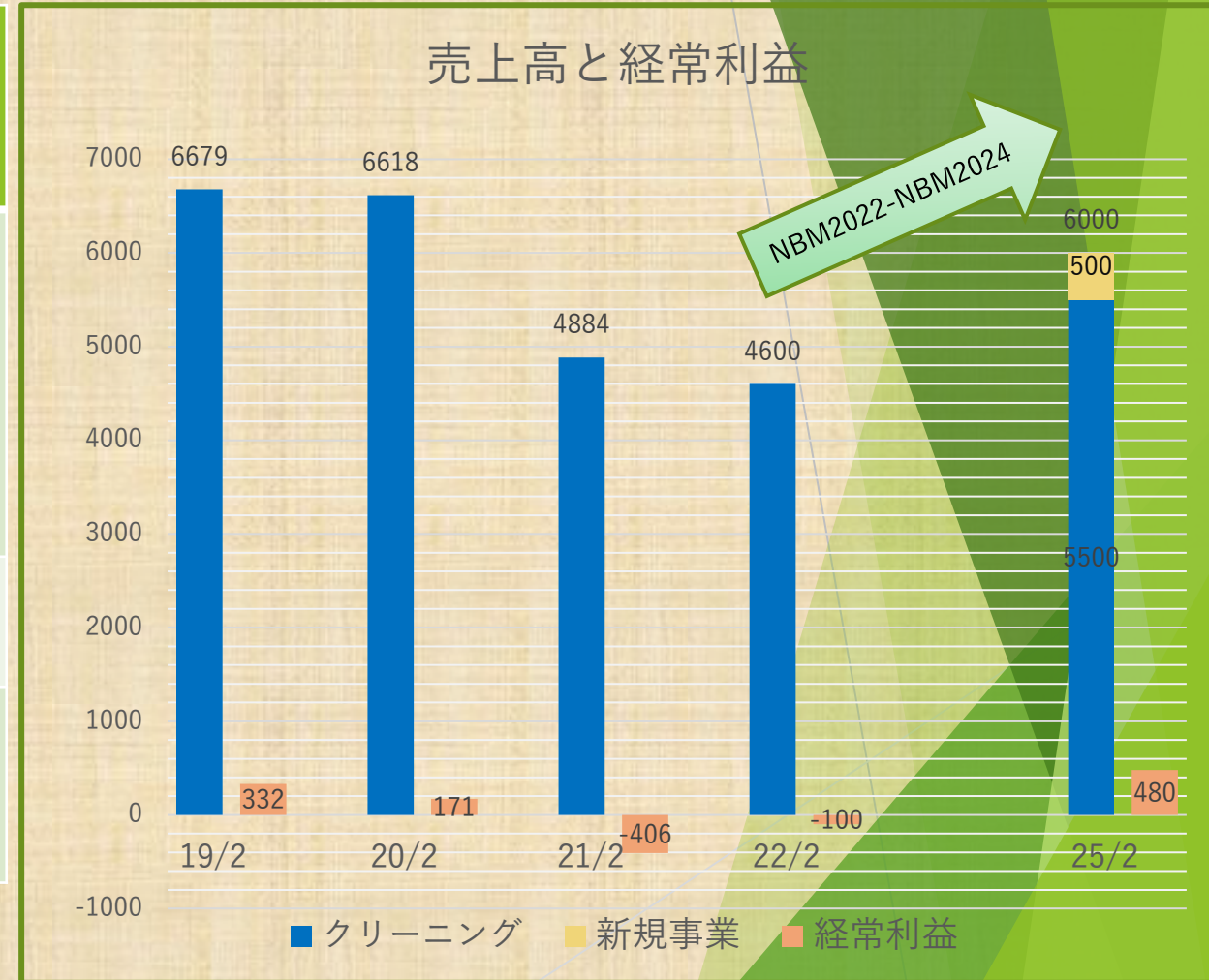
これまで、地震や豪雨等の災害に対する支援や援助被災地支援を幾度となく行っておりますが、被災地での無料クリーニング等を通して、被災者とともに復興に当りました。これらの活動は、クリーニングを通じて社会に貢献したいと考える活動であり、クリーニングを通して環境保全を考え、「清潔」から「健康」へ、そして「健康」から「命」へ繋がるような活動を企業の大切な目的として実践してきました。

2. 数値計画

	2019/2 (実績)	2020/2 (実績)	2021/2 (実績)	2022/2	...	2025/2
クリーニング 売上	6,679	6,618	4,884	4,600		5,500
新規事業 売上	-	-	-	-		500
合計	6,679	6,618	4,884	4,600		6,000
経常利益	332	171	△406	△100		480
事業計画	クリーニング	クリーニング	クリーニング	クリーニング		クリーニング 売上 及び 新規売上

(単位：百万円)

※ROE目標 10%以上



・ K P I ターゲット 「重要業績評価指標」 (Key Performance Indicator)

▶ K G I ターゲット

- ① 2025/2における総会員目標を52万人（デジタル会員含む）とします。
- ② デジタル会員の拡大を行い、10万人のデジタル会員の獲得を目標とします。

▶ K P I ターゲット

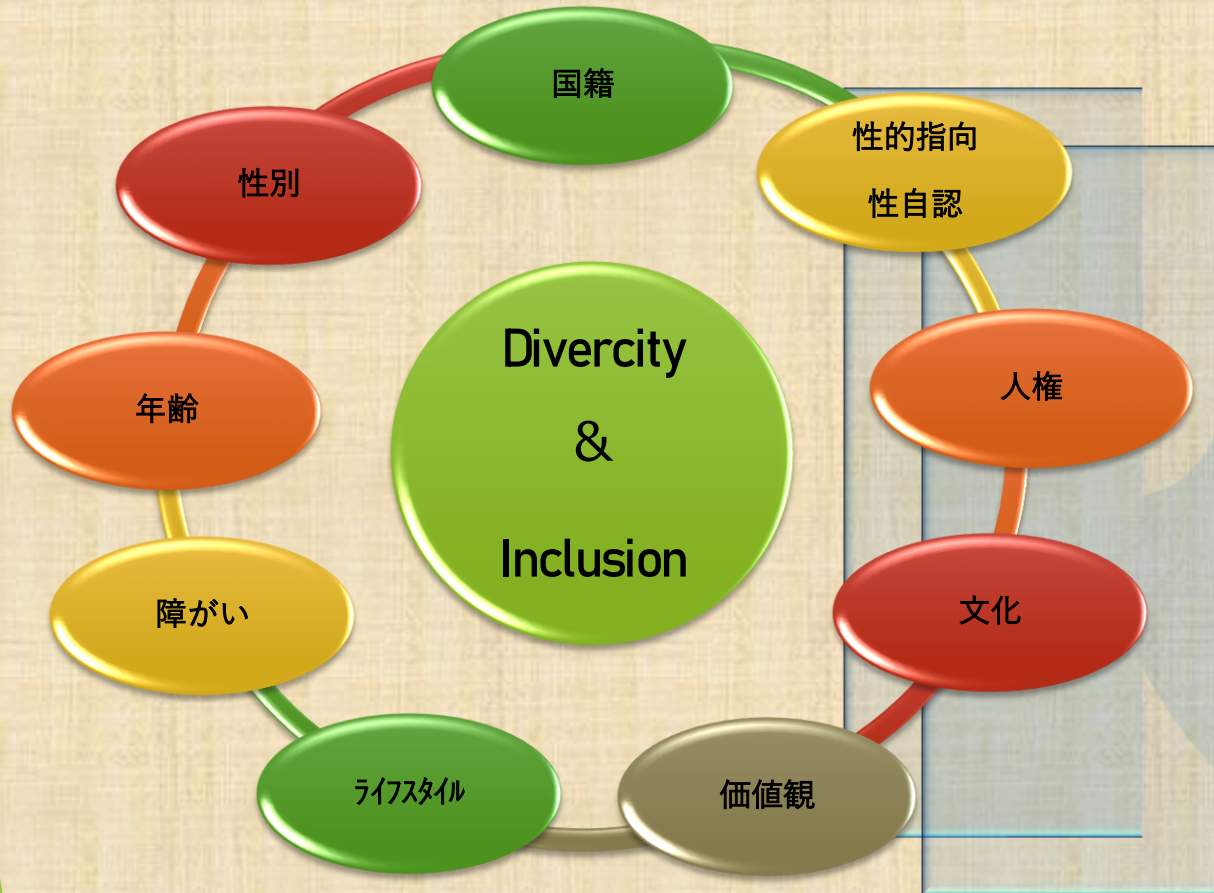
- ① 2023/2における総会員目標を45万人（デジタル会員含む）とします。
- ② 2023/2におけるデジタル会員目標を5万人とします。

3. 基本戦略

- (1) ダイバーシティ & インクルージョン
(ダイバーシティ経営を基本とする強固な新組織作り)
- (2) きょくとうDX
(DX推進によるビジネスモデルの創出)
- (3) ESGとSDGs
- (4) 効果的な投資

(1)ダイバーシティ & インクルージョン

「融和」

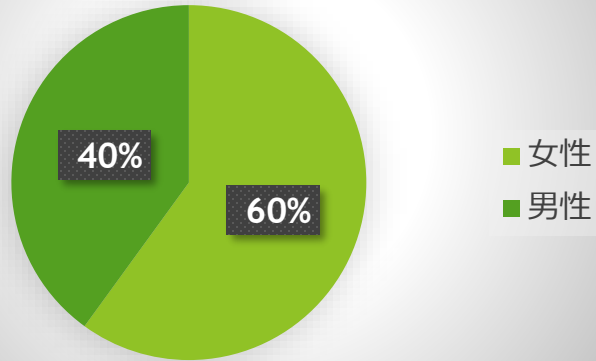


- 女性の活躍と幹部管理職登用の推進
女性役員（執行役員含む）25%、女性管理職30%を目標
- シニア雇用と活躍推進および職場環境の整備
定年後の再雇用制度を推進し、シニア人材の活躍推進
- テレワークモデルの確立と拡充による働き方改革の実践
多様な働き方の提案と管理部門の実施率50%を目標
- デジタル化による情報共有とペーパーレス化
ERPパッケージの再構築による組織と業務の改革を実現
- 障がい者雇用と活躍の積極的な推進
ノーマライゼーションの実現を目指し、障がい者雇用の積極的推進
- L G B T + の理解促進
あらゆる差別や偏見、不平等を無くす取り組みを推進
- きょうとうパワーアップ委員会の推進による職場の活性化
全員参加の意識の高まりを原動力とし、改革と新たな創造を実現
- 提案制度による改革提案と新規事業への取り組み
提案制度により新規事業及び社内改善案を募集し、具体的に実行

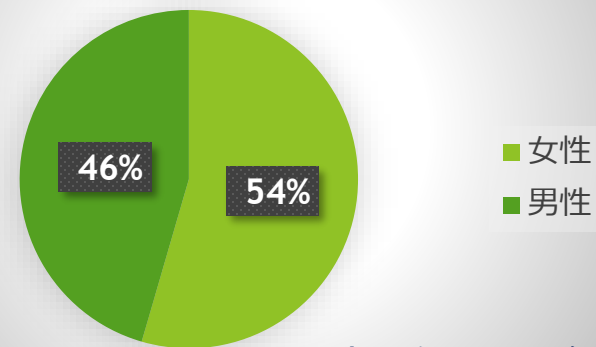
女性活躍推進 目標比率

女性活躍を目標に、あらゆる職場での女性の活躍を推進しています。女性管理職を育成するための教育や環境を整備し、女性活躍担当部署を総務部内に設置し、女性総務部長を中心としてそのバックアップとカウンセリング等の職務にあたっています。

正社員目標

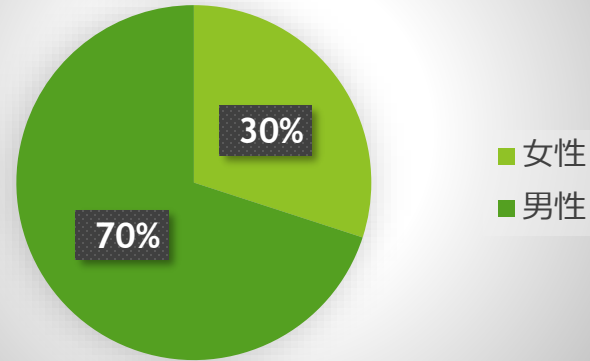


正社員実績

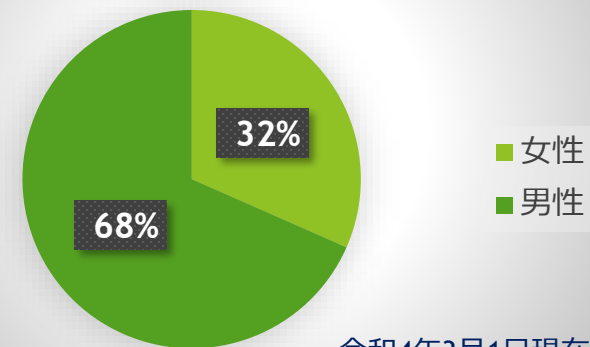


令和4年3月1日現在

管理職目標

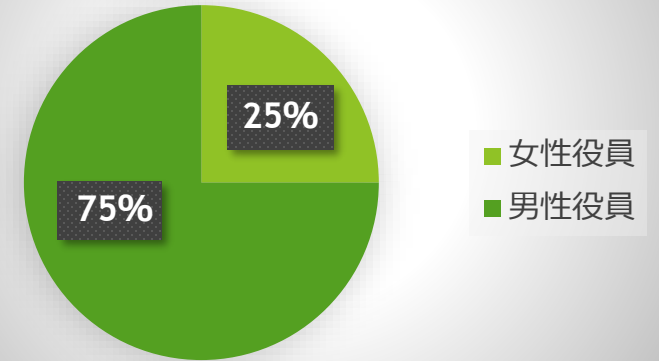


管理職実績

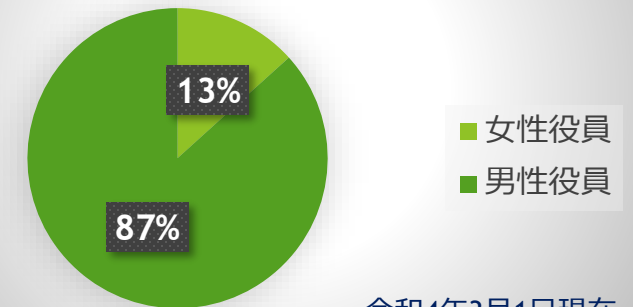


令和4年3月1日現在

役員目標



役員実績



令和4年3月1日現在

(2) きょくとうDX 「変革」

(DX推進によるビジネスモデルの創出)

- 「変革」は、事業拡大の最も大きなテーマであり、弊社は変わることによって成長し、様々な社会の要求に応じてきました。
- 変革の第一歩は、DX（デジタルトランスフォーメーション）です。
- 組織の中に流れる全ての情報の伝達方法や共有、決済方法をデジタル化し、DXにより組織の改革と新規事業を中心とする新たなビジネスモデルの創出を行っていきます。
- 特にインターネットを中心とする市場には、クリーニング市場拡大の可能性や新規事業成功の可能性が十分にあり、今後会員52万人を目指して、企業と会員の情報共有を行い、会員とのECサイトを立ち上げ、新しいユーザーコミュニティを作り、事業拡大を目指します。

業務の高度化と効率化	顧客への新価値観の提供	新規ビジネスモデルの創出
電子申請等業務の効率化	会員データに基づく新サービス	ECサイトの開発と展開
ERPパッケージの再構築	会員ECサイトコミュニティの提供	ネットクリーニングの拡充
リモート勤務の推進	マイクリーニングページの提供	会員ECサイトによる可能性提案
意思決定のスピードアップ	アプリ会員制度の拡充	業務提携企業の拡大
顧客来店データの分析と活用	SDGsへの共同参画意識	新規事業の枠組み拡大

(3) ESGとSDGs 「貢献」

(サステナビリティ経営)

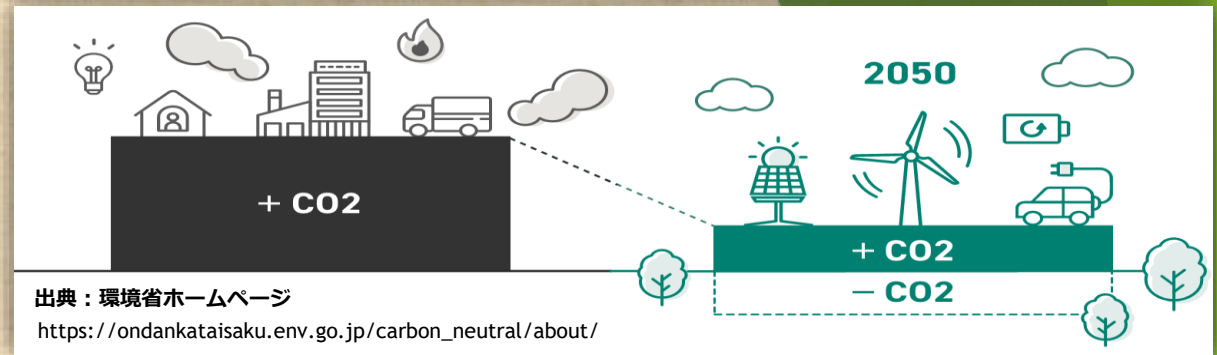
- 弊社は創業以来、経営理念の「貢献」の実現を目的として、社会貢献や環境問題、地震や豪雨等の災害に対する支援にあたってきました。
- 国内での災害発生時には速やかに支援をすることはもちろん、過去にはアフリカでの干ばつ支援にも積極的に参加するなど国際貢献も行ってきました。
- また、常に経営の透明性を確保し、環境や業績の変化に左右されない強力なガバナンス体制を堅持しています。
- 令和4年の東京証券取引所の市場再編における改訂コーポレートガバナンスコードの導入に関しては、基本的に全コードをコンプライトするよう取り組んでおり、社会とステークホルダーの要望に応えられる企業統治、ガバナンスを構築しています。
- ESGを企業の重点目標として積極的な活動を行い、社会に貢献する企業としての企業価値を高め、中長期的な成長を成し遂げていきます。



・ ESGへの取り組み①

< 環境 >

1. 脱炭素



2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指し、地球環境に配慮した新たな需要創出を行う取り組みを推進します。ドライクリーニングやランドリーの品質研究と新商品の開発を行い、よりクリーンなクリーニング事業を提案していきます。弊社2017年度のCO₂の排出量「7,137ト」を基準として、2030年度までに50%削減し「3,500ト」とする目標に取り組んでいます。

2. 省資源

弊社が2000年から実施しているハンガーデポジット制や持ち帰り袋の廃止と有料化、エコバッグの会員へのプレゼント、EM（バイオ）洗剤の採用と販売等、数々の環境と省資源に配慮した施策を実施してきました。この取り組みを今後も継続、徹底するとともに、さらに再生可能エネルギーへの転換と設備投資を行っていきます。

私たちは、将来の世代も安心して暮らせる、持続可能な経済社会をつくるためクリーニング事業や関連事業を通じて「清潔」から「健康」へ、そして「健康」から「命」へ繋がるような活動を推進し、リサイクルやリユース、再生可能エネルギーの拡大、ゼロカーボンドライブをはじめとする実現可能な取り組みにより、新たな企業価値の創造に繋がります。

・ ESGへの取り組み②

<社会、ガバナンス>

1.人権

女性差別、子供に対するいじめや虐待、高齢化社会の高齢者の生活、障がいのある人の雇用とバリアフリー、同和問題やえせ同和問題、LGBTQ+等、様々な人権課題を直視し、差別やハラスメントのない社会実現に向けた企業努力と理想の追求を続けていきます。

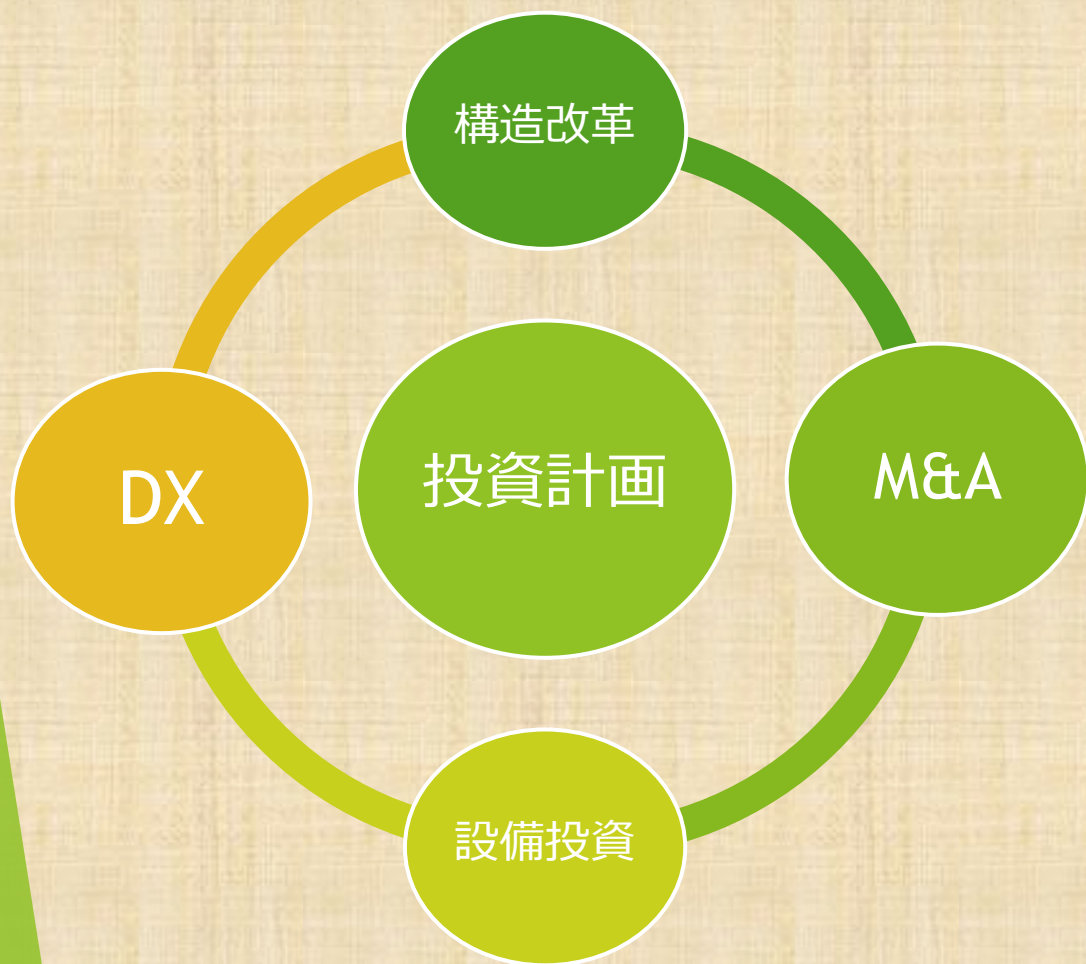
2.公益通報制度

公益通報者の秘密保持と不正リスクの早期発見に努めるために、総務部内及び顧問弁護士事務所に専用窓口を設置し、コンプライアンス経営の中心とします。

3.ガバナンス

取締役会の機能を強化し、各種委員会の設置や独立社外取締役の役割を明確にして、コーポレートガバナンスコードの全項目コンプライを目標とした経営に努めます。

(4)効果的な投資



- **組織の構造改革、工場、営業所等の再編**
新たな推進力となる組織へ変革し、効果的な拠点再編と再配置を行います。また、E S Gに関する投資も積極的に行います。
- **D Xトランスフォーメーション**
デジタル化による可能性を追求し、経営基盤の変革及び新規事業へと繋がる変革を進めます。
- **M & A**
クリーニング業界をはじめ、有望な事業の獲得と収益率向上の為の精度の高いM & Aを計画します。
- **設備投資**
業務の効率化と保有資産の有効活用のため、効果的な設備投資を計画します。

総投資額 1,500百万円

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。
したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります

株式会社きよくとう

(証券コード：2300)

URL <https://k-cleaning.jp>